

議事（1）

少子化対策をめぐる最近の動向について

- ・（茨城県）妊娠届等の推移 . . . . . P 1
- ・（全国・茨城県）50歳時未婚割合（生涯未婚率）の推移 . . . . . P 2
- ・（全国・茨城県）初婚年齢の推移 . . . . . P 3
- ・（全国）第16回出生動向基本調査結果 . . . . . P 4、5
- ・（茨城県）理想とする子どもの数と実際の子どもの数の差 . . . . . P 6
- ・（茨城県）待機児童の現状について . . . . . P 7
- ・（全国・茨城県）虐待相談対応件数の推移、里親委託率・里親登録数等の推移 . . . P 8
- ・（全国）こどもの貧困をめぐる状況、こども食堂について . . . . . P 9

【参考】茨城県（子ども政策局）の主な取り組み

- ・ AI マatchingシステムを活用した結婚支援 . . . . . P 1 0
- ・ 結婚支援コンシェルジュの配置 . . . . . P 1 1
- ・ 母子保健分野における新たな取組 . . . . . P 1 2
- ・ 待機児童ゼロ・ゼロ維持のための取り組み . . . . . P 1 3
- ・ 児童虐待防止対策 . . . . . P 1 4
- ・ 里親委託推進 . . . . . P 1 5
- ・ 子ども食堂サポートセンターいばらき . . . . . P 1 6
- ・ 【茨城県独自】低所得の子育て世帯生活応援特別給付金の支給 . . . . . P 1 7
- ・ （参考）国による物価高対応のための支援 . . . . . P 1 8

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

## 茨城県の妊娠届等の推移

(単位:人)

年次		平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5
妊娠届 (年度)	全国	1,053,444	1,008,985	986,003	933,586	914,183	867,510	831,824	790,417	750,992
	対前年比	97.9%	95.8%	97.7%	94.7%	97.9%	94.9%	95.9%	95.0%	95.0%
	(増減)	(△2.1%)	(△4.2%)	(△2.3%)	(△5.3%)	(△2.1%)	(△5.1%)	(△4.1%)	(△5.0%)	(△5.0%)
	茨城県	23,156	22,128	21,138	19,830	19,077	17,817	17,307	16,559	15,767
	対前年比	98.3%	95.6%	95.5%	93.8%	96.2%	93.4%	97.1%	95.7%	95.2%
	(増減)	(△1.7%)	(△4.4%)	(△4.5%)	(△6.2%)	(△3.8%)	(△6.6%)	(△2.9%)	(△4.3%)	(△4.8%)
出生数 (暦年)	全国	1,005,721	977,242	946,146	918,400	865,234	840,835	811,622	770,759	727,288
	対前年比	100.2%	97.2%	96.8%	97.1%	94.2%	97.2%	96.5%	95.0%	94.4%
	(増減)	(0.2%)	(△2.8%)	(△3.2%)	(△2.9%)	(△5.8%)	(△2.8%)	(△3.5%)	(△5.0%)	(△5.6%)
	茨城県	21,700	20,878	20,431	19,368	18,004	17,389	16,502	15,905	14,898
	対前年比	99.2%	96.2%	97.9%	94.8%	93.0%	96.6%	94.9%	96.4%	93.7%
	(増減)	(△0.8%)	(△3.8%)	(△2.1%)	(△5.2%)	(△7.0%)	(△3.4%)	(△5.1%)	(△3.6%)	(△6.3%)
合計特殊出生率 (全国順位)	全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.34	1.30	1.26	1.20
	茨城県	1.48(33)	1.47(33)	1.48(30)	1.44(34)	1.39(33)	1.38(33)	1.30(38)	1.27(33)	1.22(37)
人口	茨城県	2,916,976	2,861,000	2,847,000	2,829,000	2,810,000	2,801,640	2,785,000	2,767,000	2,744,000
	対前年比	99.9%	98.1%	99.5%	99.4%	99.3%	99.7%	99.4%	99.4%	99.2%
	(増減)	(△0.1%)	(△1.9%)	(△0.5%)	(△0.6%)	(△0.7%)	(△0.3%)	(△0.6%)	(△0.6%)	(△0.8%)

※地域保健・健康増進事業報告、国勢調査、人口動態統計調査による。

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

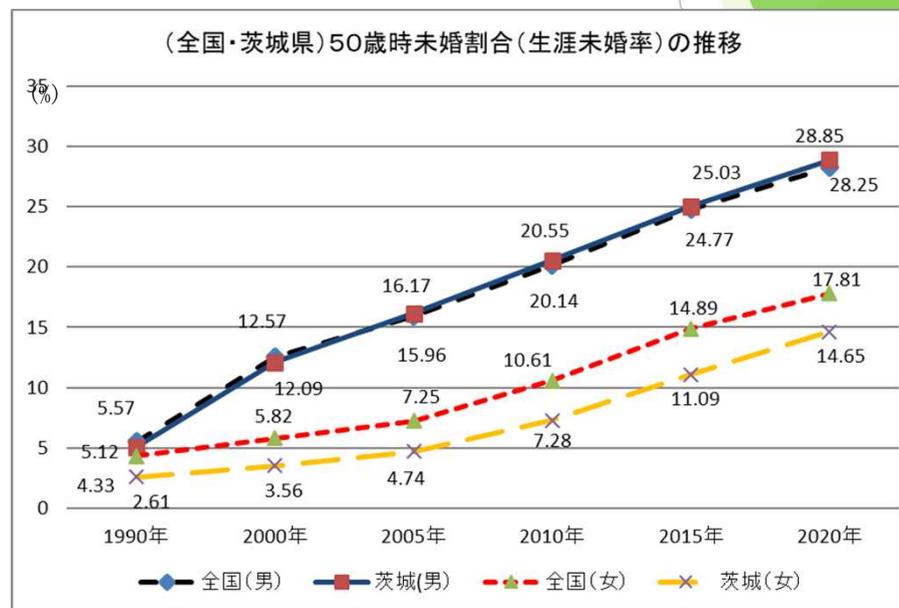
### (全国・茨城県) 50歳時未婚割合(生涯未婚率)の推移

(単位: %)

	平成2(1990)		平成12(2000)		平成17(2005)	
	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城
男	5.57	5.12	12.57	12.09	15.96	16.17
女	4.33	2.61	5.82	3.56	7.25	4.74

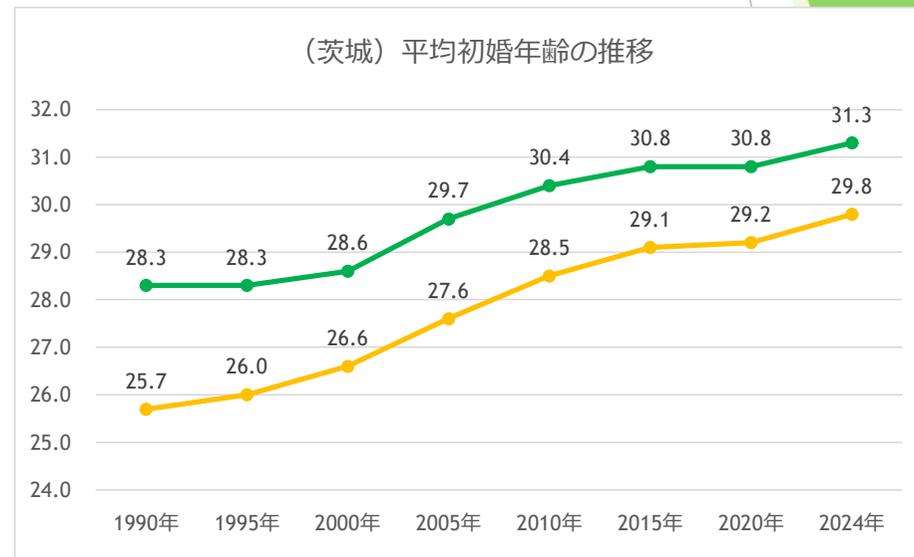
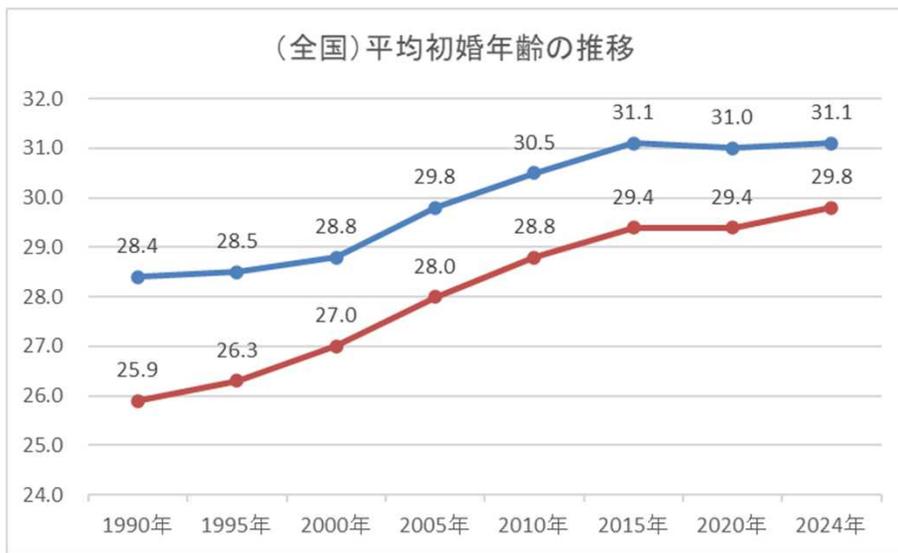
	平成22(2010)		平成27(2015)		令和2(2020)	
	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城
男	20.14	20.55	24.77	25.03	28.25	28.85
女	10.61	7.28	14.89	11.09	17.81	14.65

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」



少子化対策をめぐる最近の動向について

(全国・茨城県) 平均初婚年齢の推移



人口動態統計調査より

● (男)

● (女)

● (男)

● (女)

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

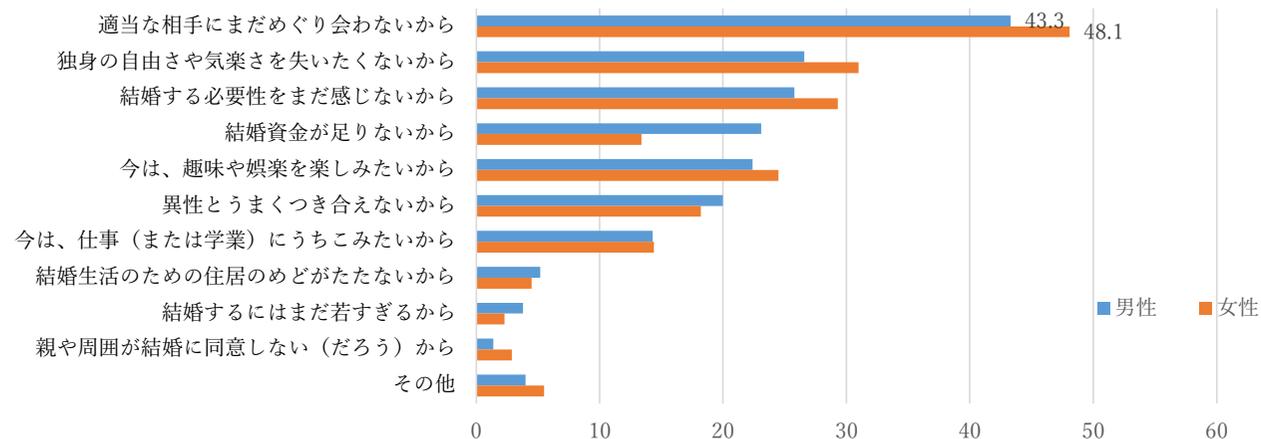
### (全国) 第16回出生動向基本調査 (国立社会保障・人口問題研究所)

#### 未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた割合 (18歳～34歳)

調査年	1982	1987	1992	1997	2002	2005	2010	2015	2021
男性	95.9	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0	86.3	85.7	81.4
女性	94.2	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0	89.4	89.3	84.3

出典：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」(2021年)

#### 独身でいる理由 (対象：25歳～34歳の独身者)

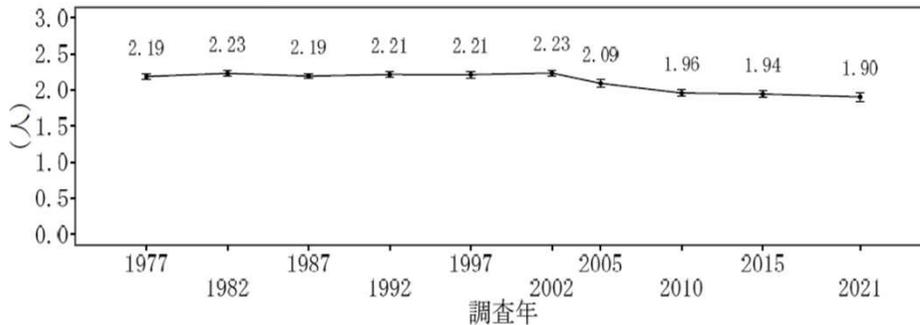


出典：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」(2021年)

少子化対策をめぐる最近の動向について

(全国) 第16回出生動向基本調査 (国立社会保障・人口問題研究所)  
夫婦の完結出生子どもの数

図表 6-1 調査別にみた、夫婦の完結出生子ども数 (結婚持続期間 15~19年)

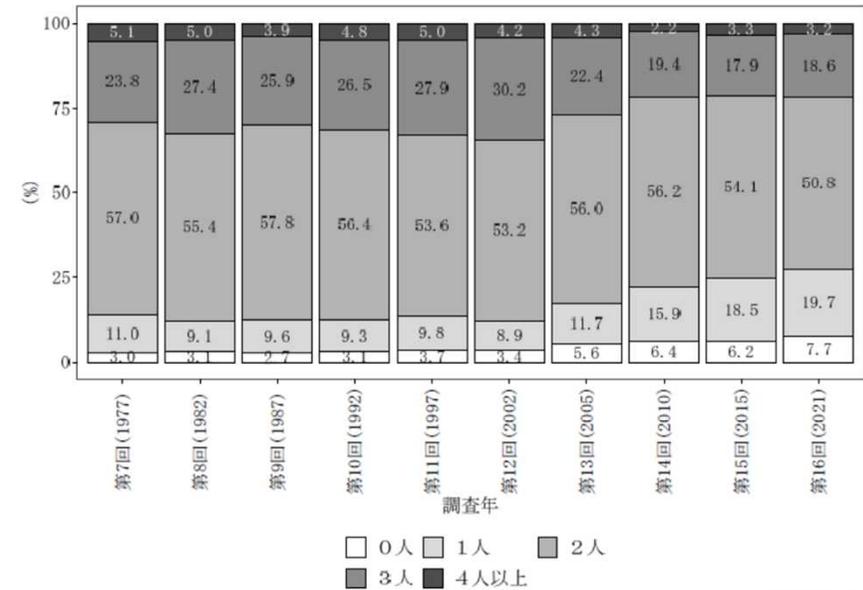


出典：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」(2021年)

完結出生子ども数

- ・子どもを追加する予定がほぼいない結婚持続期間15~19年の夫婦の平均出生子ども数
- ・2015年調査までは妻の調査時の年齢が50歳未満の数について集計、2021年調査では妻の年齢が55歳未満について集計(※)
- ※妻が30~34歳で結婚した夫婦の一部及び35歳以上で結婚した夫婦を調査対象とするため。

図表 6-2 調査別にみた、夫婦の出生子ども数の分布 (結婚持続期間 15~19年)



## 少子化対策をめぐる最近の動向について

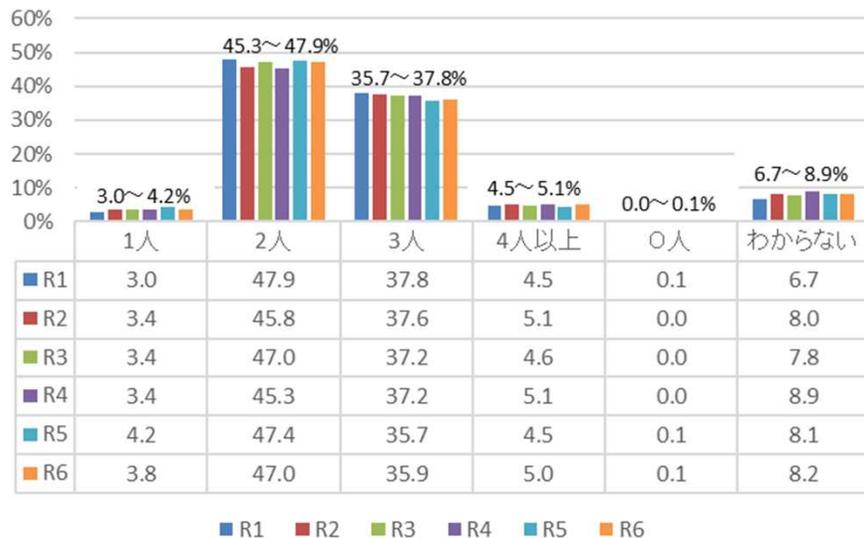
### (茨城県) 次世代育成支援に係るアンケート調査結果

#### 県民が理想とする子どもの数と実際の子どもの数（予定含む）の差

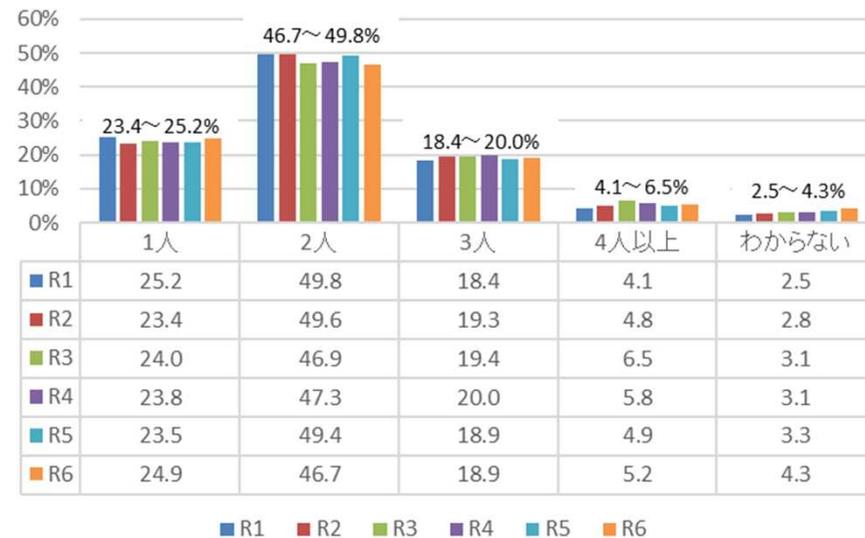
	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	参考：2025 (R7)
回答数	4,002件	4,809件	4,157件	3,943件	4,051件	3,941件	2,548件
理想とする子どもの数	2.47人	2.48人	2.47人	2.48人	2.44人	2.46人	2.51人
実際の子どもの数（予定含む）	2.01人	2.06人	2.09人	2.08人	2.05人	2.05人	2.03人
上記の差	0.46人	0.42人	0.38人	0.40人	0.39人	0.41人	0.48人

資料：茨城県「次世代育成支援対策推進法に基づく地域行動計画に係るアンケート」より  
 ※市町村が実施する乳児健診、1歳6か月健診及び3歳児健診、その他未就学児健診対象者の保護者にアンケートを実施

#### あなたの理想とするお子さんの数は何人ですか

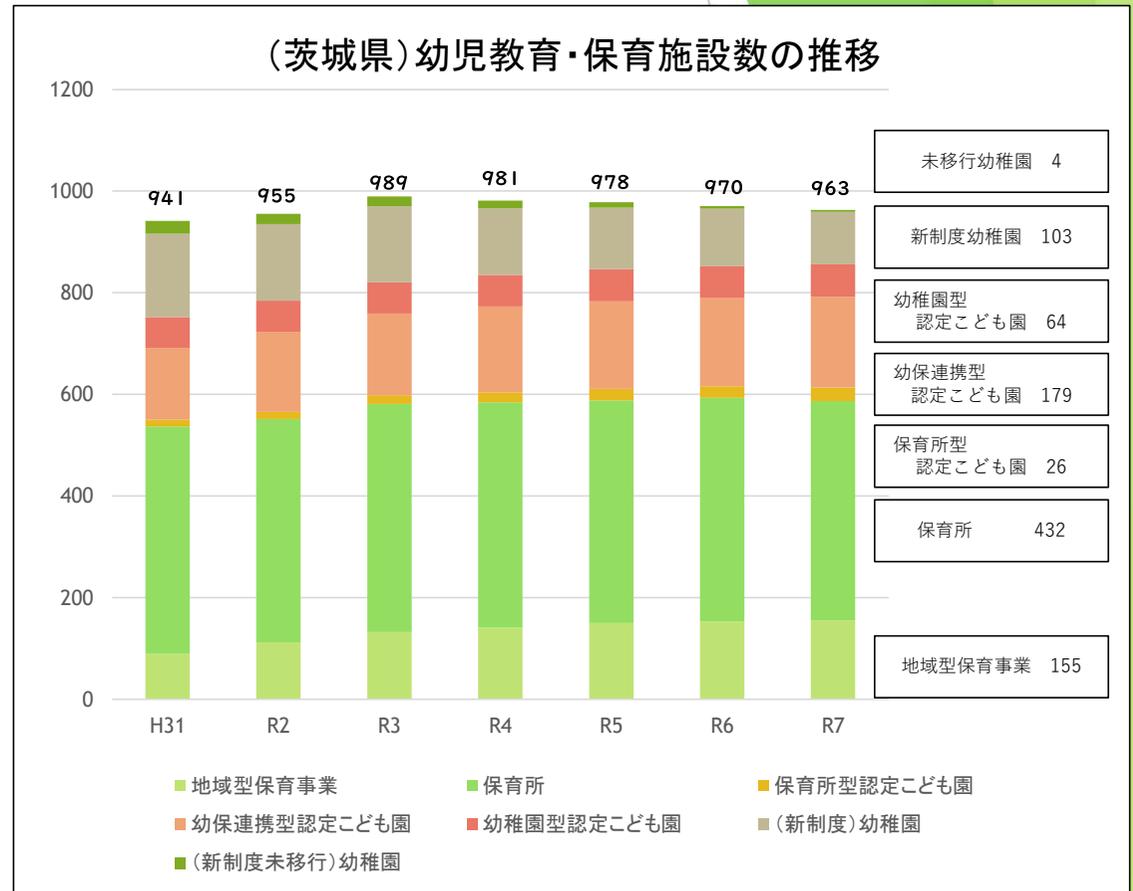
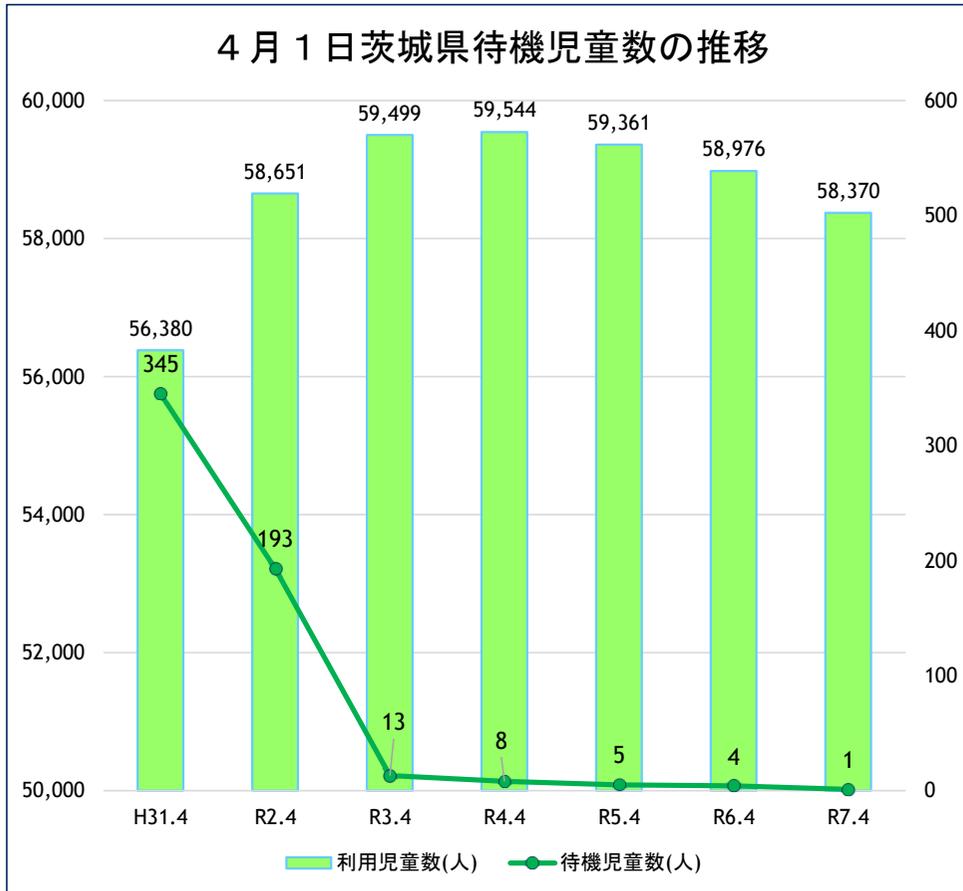


#### 実際のお子さんの数（今後の予定する数を含める）は何人ですか



少子化対策をめぐる最近の動向について

待機児童の現状について



少子化対策をめぐる最近の動向について

児童虐待相談対応件数の推移

児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加しており、2024（R6）年度においては、4,233件（速報値）と過去最多を更新した。

茨城県の虐待相談対応件数の推移

	虐待相談	全相談	割合(%)
令和2年度	3,478	6,754	51.50
令和3年度	3,748	8,372	44.71
令和4年度	4,033	7,825	51.54
令和5年度	4,134	7,778	53.15
令和6年度	4,233	7,764	54.52

全国の虐待相談対応件数の推移

	虐待相談	全相談	割合(%)
令和2年度	205,044	527,272	38.89
令和3年度	207,660	571,961	36.31
令和4年度	214,843	566,013	37.96
令和5年度	225,509	585,934	38.49
令和6年度	223,691	582,910	38.37

里親委託率・里親登録数等の推移

茨城県の里親委託率



里親登録数等の推移

	里親委託児童数	里親登録数
令和2年度	128人	325組
令和3年度	138人	358組
令和4年度	148人	380組
令和5年度	154人	443組
令和6年度	182人	466組

少子化対策をめぐる最近の動向について

こどもの貧困をめぐる状況

貧困率（全国）

指 標	計画策定時	直近値
相対的貧困率	15.4% (R3年)	同左
子どもの貧困率	11.5% (R3年)	同左
貧困率 (子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の世帯)	44.5% (R3年)	同左
貧困率 (子どもがいる現役世帯のうち大人が二人以上の世帯)	8.6% (R3年)	同左

こども食堂について

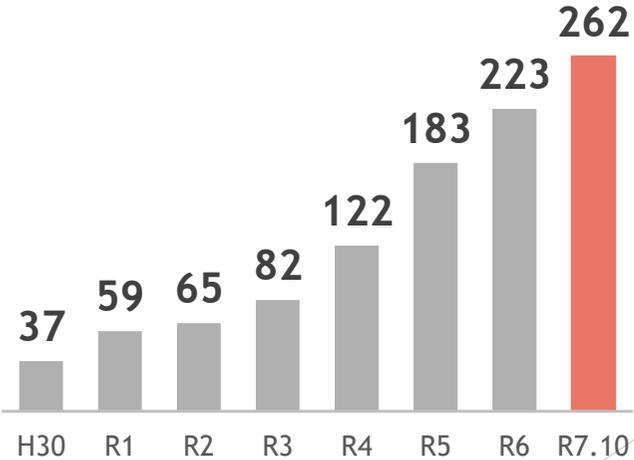
こども食堂の数

	計画策定時①	直近値②	増加率(②/①)
全国	9,132箇所 (R5年)	12,601箇所 (R7年)	138%
茨城県	183箇所 (R5年)	262箇所 (R7年)	143%

※こども食堂とは

- 主に市民のボランティアが主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供する、地域に密着したコミュニティの場。
- 貧困対策に限らず、地域交流や子どもの居場所など、こども食堂の機能・目的は多様化している。

こども食堂数の推移（茨城県）



【参考】

近隣都県の状況（こども食堂数）

	直近値（R7）
福島県	178箇所
栃木県	154箇所
群馬県	191箇所
埼玉県	524箇所
千葉県	434箇所
東京都	1,325箇所

※出典：「2025年度こども食堂全国箇所数調査」認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

## A I マatchingシステムを活用した結婚支援（いばらき出会いサポートセンター）

## ○目的

「いばらき出会いサポートセンター」において、若い世代のニーズに合わせたA I マatchingシステムを活用し、相性の良い相手を紹介することなどにより、マatchingの確率を上げ、成婚数の増加を目指す。

## ○主な特徴

- ・会員個人のスマートフォンやパソコンから利用可能
- ・価値観診断により、A I が相性の良い相手を紹介
- ・同時期に複数の相手とのお見合い・交際が可能  
（真剣交際では1対1）
- ・オンラインお見合いに対応

## ○会員登録状況等の推移

## A I マatchingシステム導入

年度	2020	2021	2022	2023	2024
会員数 （年度末時点）	2,317人 （※1,016人）	2,290人	3,373人	3,240人	4,053人
入会者数	681人 （※197人）	1,344人	1,727人	1,836人	1,291人
お見合い件数	1,114組	2,257組	3,075組	3,269組	3,205組
交際開始件数	415組	930組	1,319組	1,365組	1,318組
センター成婚数	122組	135組	144組	159組	184組

※A I マatchingシステムに事前登録をした会員数。

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

### 結婚支援コンシェルジュの配置

#### ○目的

市町村や企業の結婚支援を技術面・情報面から支援する「結婚支援コンシェルジュ」を配置し、県内の結婚支援の取組の強化を図るとともに、市町村等と連携したイベントを実施することで、センター会員と会員外の方との新たな出会いの場を創出する。

#### ○主な活動内容

- ・市町村、企業等への訪問及び現状把握
- ・市町村・企業等と連携した婚活イベント・セミナーの開催
- ・市町村等が実施するイベント・セミナー等への助言・協力
- ・結婚支援業務未実施市町村への働きかけ
- ・関係先（市町村、企業等）との情報共有

#### ○市町村等と連携した婚活イベント等の開催状況

	2023年度		2024年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
イベント	7回	239人	8回	217人
セミナー	7回	79人	6回	88人

【参考】コンシェルジュと市町村が連携したイベントの例

**恋する桜日和**  
2025.3.1 Sat  
13:30~16:00  
会場 いばらきフラワーパーク  
※雨天決行

マッチングプレゼントあり  
1:1トークあり  
金銭と話をします

春の花のボトリアルレンジ  
桜の限定スイーツ  
お花に囲まれリラックス

☆恋する桜日和☆  
春は恋する季節♪フラワーパークで婚活イベント  
日時 2025年3月1日(土)13:30~16:00  
12:50 受付開始  
会場 いばらきフラワーパーク  
茨城県石岡市下青柳200番地  
対象 23~35才の独身男女30人  
(センター入会希望者優先あり)  
会費 男性¥3000 女性¥1000

詳細お申込はこちら  
2/17 締切

内容：桜の限定スイーツ、春の花のボトリアルレンジ体験、グループトーク、1:1トーク等  
マッチングあり  
※マッチングした方に素敵なプレゼントあり

共催：茨城県、笠間市、桜川市、(一社)いばらき出会いサポートセンター  
お問合せ：070-4482-0275(担当:いぬづか)

少子化対策をめぐる最近の動向について

母子保健分野における新たな取組について（2025年度新規事業）

（1）不妊治療費助成事業

- ・高額な医療費がかかる不妊治療のうち、保険適用外となる先進医療に対する費用の一部を助成することで、妊娠を望み不妊治療に取り組む方の経済的負担の軽減を図る。

○実施主体 市町村

保険適用		保険適用外
一般不妊治療 (タイミング法等)	生殖補助医療 (体外受精・顕微授精等)	先進医療



（2）新生児マス・スクリーニング実証事業

- ・新生児の先天性疾患である脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患について、生後早期に検査を実施し、早期治療に繋げる。

脊髄性筋萎縮症（SMA）



脊髄の神経細胞に生まれつき異常があることで、筋肉が萎縮して体幹や手足の筋力低下が進行していく病気。生後まもなくから筋力低下を起こす重症型、1歳半くらいまでに発症する中間型、1歳半以降にゆっくりと発症する軽傷型に分けられる。



- ・手足の筋力低下、首のすわりの遅れ
- ・お座りや歩行の遅れ
- ・飲み込みにくさ（哺乳不良、誤嚥）
- ・呼吸の筋肉の弱さ

重症複合免疫不全症（SCID）



感染症と戦う免疫に生まれつき異常があるために、感染症を繰り返し重症化する病気。適切な治療を受けなければ亡くなる危険性が高く、感染症にかかる前に診断し治療を開始することが重要。



- ・下痢や咳がつづく
- ・体重が増えない又は減る
- ・ウイルス感染の重症化
- ・口腔カンジダ感染

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

### 待機児童ゼロ・ゼロ維持のための主な取り組み

#### 1 保育人材の確保

##### (1) 人材育成

事業項目	事業内容
保育士修学資金貸付	保育士養成施設学生に対する修学資金の一部貸付
家庭的保育事業促進事業	家庭的保育者認定研修

##### (2) 就業継続支援

事業項目	事業内容
民間保育所等乳児等保育事業	1歳児保育のための保育士等の雇用に必要な費用の補助
施設型給付費・地域型保育給付費	保育所等の運営費、保育士等の処遇改善
保育補助者雇上強化事業	保育士の負担軽減を行う保育補助者雇用に必要な費用の補助
保育体制強化事業	給食配膳、寝具の用意等を行う保育支援者の雇用に必要な費用の補助

##### (3) 再就職支援

事業項目	事業内容
いばらき保育人材バンク設置運営事業	無料職業紹介や潜在保育士への就職支援、若年層に向けた保育の仕事の魅力の発信
未就学児をもつ潜在保育士への保育料貸付等	未就学児の保育料一部貸付と補助
潜在保育士への再就職準備金貸付	潜在保育士が保育所等に勤務する場合の就職準備金貸付

#### 2 施設の整備

少子化による需要動向を見極めながら、地域の実情に応じた保育所等の整備を進めていく。

	保育所等の整備	
	整備か所	定員数
R4年度	27施設	509人
R5年度	15施設	414人
R6年度	22施設	822人
R7年度	30施設	872人

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

## 児童虐待相談対応件数増加への対応状況

## 1 児童相談所の体制強化

- ・国の基準及び「茨城県子どもを虐待から守る条例」に基づき、児童福祉司及び児童心理司を増員

【参考】本県の児童福祉司・児童心理司の配置数の推移（各年度4月1日現在）

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
児童福祉司	104人	123人	128人	139人	151人
児童心理司	45人	46人	54人	59人	57人

## 2 早期発見、早期対応のための通報・相談窓口の整備

- ・全国共通の児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」の周知・普及と、24時間体制での電話相談受付対応
- ・メッセージアプリ「LINE」を活用した相談の実施（2023年1月～）

## 3 職員の資質向上

- ・階層別研修やスーパーバイザー研修などを実施・受講することにより、職員の資質向上を図る。

少子化対策をめぐる最近の動向について

虐待等より保護者と生活することが難しい要保護児童について、家庭と同様の環境で養育されるよう、里親委託推進に取り組んでいる

1 フォスタリング業務の包括的实施による里親支援

2022(R4)年度から、民間の専門機関と連携し、里親支援に係る一連の業務を包括的に実施

【2024 (R6) 年度の実績】

①意欲ある里親の確保（リクルート）

- ・説明会の開催（39回）
- ・チラシの各戸配付（18市町村、約6万部）
- ・公共機関、病院、スーパー、コンビニ、薬局等でのポスター掲出 など

②里親の研修・スキルアップの実施

- ・登録前研修（全4回×2地域）
- ・スキルアップ研修（全11回×2地域）

③委託中里親のアフターケア

- ・専門相談員による里親訪問
- ・メール・SNSによる相談支援



2 里親委託推進チームの設置

2024(R6)年10月1日から、児童相談所職員及びフォスタリング機関の職員で構成する「里親委託推進チーム」を中央児童相談所に設置

里親との面談等により、今委託できる里親の情報を集約、丁寧に子どもとのマッチングを実施

3 情報発信の強化

- ・2025(R7)年1月29日から、里親制度の情報を包括的に提供するポータルサイト「いばらき里親navi」を開設
- ・里親制度の関係者（里親、児童養護施設職員、児童相談所職員等）の声や、実際に里親の下で育った経験者のインタビューを収録した動画を作成、ポータルサイトに掲載



少子化対策をめぐる最近の動向について

# 子ども食堂サポートセンターいばらき

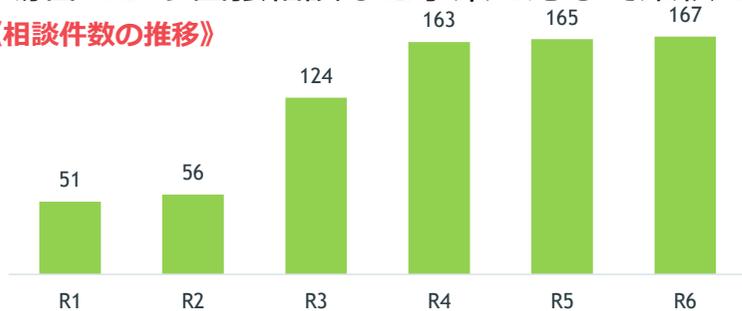
こども食堂に関する総合相談窓口「子ども食堂サポートセンターいばらき」を設置することで、子ども食堂の立ち上げや活動の継続を支援し、地域で子どもを支え、見守る仕組みを創設します。

## 主な機能

### 1. 相談対応

- ・ 子ども食堂に関わる総合的な相談窓口
- ・ 電話、メール、SNS等を通じた相談対応
- ・ 場合により出張相談など事案に応じて柔軟に対応

《相談件数の推移》

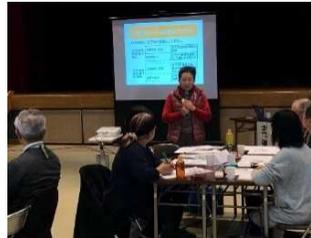


### 2. 情報発信

- ・ 専用のホームページに、子ども食堂の運営者・利用者に役立つ情報を掲載。
- ・ 各種SNSを通じて広く情報を発信。

### 3. 人材育成・掘り起こし

- ・ 開設希望者向けの「スタートセミナー」の実施
- ・ 運営者研修としての「運営セミナー」の実施
- ・ 「子ども食堂交流会」を実施しネットワークを強化



子ども食堂運営者から立ち上げの経緯を学ぶ



サポートセンターが運営のコツを説明

### 4. 寄贈マッチング

- ・ 寄贈者と子ども食堂を仲介
- ・ 寄贈者の要望を聞き取り適切な寄贈先を案内

《主な寄贈仲介実績》

(株) ヨークベニマル	精米、袋めん
ティーエスフーズ (株)	冷凍餃子、冷凍焼売
JA全農いばらき	メロン、玉ねぎ、ミニトマト、みず菜、ジャガイモ、人参
(株) ハラキン	生きくらげ

少子化対策をめぐる最近の動向について

**【茨城県独自】 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金の支給**

物価高騰等の影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、本県独自に対象児童1人当たり5万円の特別給付金を支給します。

《参考：過去の給付金の支給状況》

児童扶養手当受給者等への支給

給付時期		給付額
R2	8月,12月	1世帯あたり5万円(第2子以降児童1人につき3万円)
R3	4月	児童1人あたり5万円
R4	<b>3月,6月,11月</b>	
R5	5月	

低所得の子育て世帯等

給付時期		給付額
R3	6月	児童1人あたり5万円
R4	6月, <b>11月</b>	
R5	5月	

※太字は県独自給付

**1. 対象者**

- ①ひとり親世帯
  - ・・・令和8年1月分の児童扶養手当受給者等【約19,000世帯】
- ②低所得のふたり親世帯
  - ・・・18歳以下の児童を養育する住民税均等割非課税世帯【約18,000世帯】

①②に該当する児童手当、児童扶養手当受給者に対しては  
申請不要(プッシュ型)で支給する

**2. 給付額**

児童1人当たり一律5万円

**3. 実施主体**

市町村(ひとり親世帯の町村分は県から支給)

## 少子化対策をめぐる最近の動向について

## (参考) 国による物価高対応のための支援

## 物価高対応子育て応援手当

**1.目的**

物価高の影響が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、我が国のこどもたちの健やかな成長を応援する観点から、物価高対応子育て応援手当を支給する。

**2.支給対象者**

児童手当支給対象児童（令和7年9月30日時点）を養育する父母等（対象児童数約1,780万人）  
※対象児童には、令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む

**3.給付額**

こども一人当たり一律2万円

**4.予算額**

3,677億円（給付費：3,566億円、事務費：111億円）

**5.実施主体**

令和7年9月30日時点での児童手当受給者（主たる生計維持者）の住所地市町村（特別区を含む）

